

目次

はじめに 小言語の翻訳を論じること

第I部 ヨゼフ・ユングマン

13

第1章 十九世紀初頭のチエコ語 14

第2章 『言語芸術』 41

第3章 『アタラ』の翻訳 54

第4章 辞書 73

第5章 翻訳の機能 95

第II部 パウル・アイスナー／パヴェル・アイスネル

109

第1章 言語のはざま 110

第2章 アンソロジー 124

第3章 「共生」に関する言説 147

第4章 ユダヤ性について 185

第5章 翻訳をめぐる言葉 201

第Ⅲ部 ミラン・クンデラ

217

第1章	翻訳者クンデラ	218
第2章	翻訳されなかった作品	236
第3章	「小文学」を翻訳する	259
第4章	「真正版」という概念、あるいは小説の変容	280
第5章	翻訳される作品、あるいは「大いなる帰還」	303

参考文献	323
------	-----

結びに	335
-----	-----

索引	344
----	-----